



# 東北電友会会報

82号

平成30年  
1月発行



(山形局運用課宿直)

シリーズよみがえるあのことろ  
～電話がみえる心の風景～  
なつかしい交換室

写真提供/電友会 山形支部

## I

### INDEX

ごあいさつ	東北地方本部だより	9
NTT東日本 取締役 宮城事業部長	各地区電友会だより	11
NTT東日本 宮城事業部 山形支店長	会員リレーコーナー	66
支部長メッセージ 山形支部長	会友コーナー 文芸・随想	70
NTTグループ東北だより	でんでんみちのく川柳コーナー	76
震災コーナー	NTT東日本から退職者の皆様へ	78
賛助会員企業様コーナー	編集後記	79

## ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 取締役 宮城事業部長  
宮城事業部 宮城支店長  
東北復興推進室長

中村 浩

(NTT東日本一東北 代表取締役社長)



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は昨年6月に、「NTT東日本宮城事業部長」兼「宮城支店長」兼「NTT東日本一東北社長」として着任いたしました。東北・宮城での勤務は初めてとなりますが、東北の発展に力を尽くしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、昨年を振り返ってみますと、7月には、お客さまニーズをはじめとする市場環境の急速な変化等に対応する観点から、大規模から中堅・中小規模の企業のお客さまを一元的に所掌する営業体制に移行し、「ビジネスイノベーション部」を設置しました。今後も、東北の市場に根ざし、お客さまニーズを捉えた活動を通じて、ブロードバンドサービスの普及拡大、ICTの活用促進等に努めて参ります。それにより、少子高齢化等による人手不足、働き方改革等、お客さまが抱える課題の解決に貢献し、東北の持続的発展に寄与していきたいと考えます。

そして、10月には固定電話のIP網への移行スケジュール等に関する発表を行いました。これは、2025年頃に固定電話の中継・信号交換機が維持限界を迎えること等を踏まえ、2024年から現在の電話網を新しい電話網(IP網)に順次移行するということです。

この移行をすすめていく上で最も重要なことは、

引き続き固定電話をご利用されるお客さまのため、いかにそれを維持していくかという点であります。IP網の特性を活かしながら、できる限りお客様にご負担をおかけしないよう固定電話の受け皿となる電話サービスを提供して参ります。

また、お客さまによる手続き及びお客さま宅内での工事は不要で、電話機はそのままご利用いただけること、お客さまが悪質な販売勧誘による被害に巻き込まれることがないようにご注意ください。等について、丁寧にお伝えし、引き続き安心して電話サービスをご利用いただけるよう努めて参ります。

本年も、地域に密着した「身近な総合ICT企業」として、また、「お客さまのバリエーションパートナー」として、全社員一丸となって取り組んで参りますので、今後のNTT東日本グループの取り組みに、多くのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、皆様から物心両面でご支援いただいている「東北マックス」ですが、ベースボールクラブはクラブ野球選手権大会本戦出場、バドミントンチームは日本リーグ準優勝でS/Jリーグへの昇格等、皆様の期待に応えてくれました。来シーズンも各種大会での上位入賞など、目標達成に向け、全力で頑張つてまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、東北電友会の皆様のご健康・ご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 宮城事業部  
山形支店長

両川 英樹



東北電友会の皆様におかれましては、日頃より弊社の事業に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

7月1日付けで、山形支店に着任しました両川（もろかわ）と申します。

初めての東北・初めての山形県での生活となりませんが、豊かな自然や温泉、特に「お米・そば・牛肉・お酒」、日本一の生産量を誇る「さくらんぼ」などの食文化のすばらしさを体感するとともに、趣味のランニングにおいては、山形県内で開催される4つのマラソン大会に参加するなど山形を満喫させて頂いています。

さて、NTT東日本グループでは、これまでの「回線事業」から「サービス事業」を中心とした収益構造への転換という中長期的な目標に向けて、新たなチャレンジを進めてきました。「変革の3本柱」として、「ビジネスユーザー市場の攻略」「光コラボレーションモデルの推進」「経営効率化・生産性向上」を掲げ、とりわけ、「ギガらくWi-Fi」や「24時間出張修理オプション」等の高付加価値サービスを新たな収益の柱へと育てるためにさまざまな活動に精力的に取り組んでいるところです。

宮城事業部においても、効率化・生産性の向上によって利益を維持拡大している状況ではありませんが、いかに高付加価値サービスの販売拡大等により

新たな収益源を確保できるかが、喫緊の課題となっています。東北一丸となつてしっかりと取り組み、いずれ来る電話の下げ止まり時期に「増収転換」できる体質への転換に向けてチャレンジしていくことが重要となっています。

このような中、山形県に目を向けると、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、県と11市が13カ国・地域を対象にホストタウンとして内閣府に登録されており、全国トップとなっているものの、インバウンドは来県する観光客の僅か2%にとどまっている状況です。優れた観光資源を有する山形県に訪れた外国人の方々が快適に過ごし、「もう一度山形に行ってみよう」、「山形はとてすばらしい所だ」と各国で口コミが広がるような、Wi-Fi等の通信環境設備の充実および各種サービスの新しい使い方による便利な生活のプロデュース等、地域に根ざした情報通信会社として、山形支店全社員が一丸となり全力で取り組んでいきたいと考えておりますので、東北電友会の皆様には、これまでと変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、東北電友会会員皆様方の益々のご健康とご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

◎支部長メッセージ



山形支部長

鈴木 哲

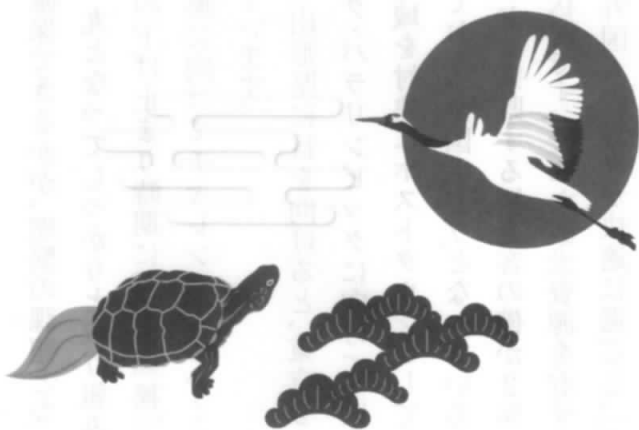
「健康寿命を延ばす努力を」

昨年9月の敬老の日に合わせて総務省から発表された人口推計によると、65歳以上の高齢者が総人口に占める割合は27・7%で過去最高を更新し、依然として世界で最も高いとことです。今後も高齢化が更に進むことで超少子高齢社会における社会補償や労働力不足面等での対策が大きな課題となっています。また、高齢者の実情をみると、自立して生活ができない要介護者が、65歳以上では約2割、85歳以上では約6割で、介護されている期間は平均で男性が約9年、女性が約13年というデータもあり、介護する家族側にとって労力、経済面で大きな負担となっています。

そのような中、私達高齢者は社会や家族にできるだけ負担をかけない努力をするべきではないかと考えます。その一環として、まずは自立して生活できる、いわゆる健康寿命を延ばすことを真剣に考えてみてはどうでしょうか。以前ある新聞に、100歳を超えてもなお自立して暮らしている人を対象に、どう

すれば長く自立できるかを調査（慶応大学医学部調査）した結果が載っていましたが、それによると健康寿命を延ばす要因は、①若い時に肥満でないこと、②食事をしっかりとること、③外向的で身体活動量が多いことが考えられるとのことでした。①はともかくとして、②③は私達にとって大いに参考となるのではないのでしょうか。既に健康寿命を延ばすため、いろいろな努力をしている人も多いと思いますが、外での活動量を増やす1つの手段として、電友会のサークル活動に積極的に参加することも非常に有効ではないかと思えます。サークル活動に参加することで、①自分の体力に合わせた適度な運動ができる、②目標ができることで、それを達成しようとする希望がわき、生きがいが増す、③仲間とコミュニケーションを図ることによっていろいろな知識や情報を得ることができ、かつ脳を働かせることができる、④計画的に行動することでダラダラ生活からイキイキ生活に変えることができる等で心身の健康が維持でき、ひいては健康寿命を延ばすことができるのではないのでしょうか。ちなみに私自身、主に孤独なダラダラ生活からの脱却と認知症防止のため、サークル活動への参加や会運営の仕事を引き受けている次第です。

当支部におけるサークル活動への参加者は多いとは言えない状況で、多くの会員がサークル活動とは無縁となっています。サークル活動への参加者を増やすことが、会員の健康維持に役立つのみならず、会運営の活性化にも繋がることから、未参加や新規会員への働きかけに力を入れていかなければならないと思っています。本メッセージもその一環として書かせていただきました。サークル活動への参加者が真に増えることを期待したいと思います。



## ◆NTTグループ東北だより

### ◎スポーツクラブ後援会情報

日頃よりNTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力頂き、「東北マックス（ベースボール・バドミントン）」に対し物心両面でのご支援、ならびにご声援を賜り、誠にありがとうございます。

東北マックスの選手たちは、NTTグループ各社をはじめ、さまざまな企業に所属しており、各自の時間をやりくりしつつ、皆様のご期待に応えるべく、鍛錬を重ねています。

各クラブの今シーズンのこれまでの主な成績については、ベースボールクラブは都市対抗野球大会（東京ドーム）では企業チームの壁が厚く1次予選大会で敗退。

クラブ野球選手権大会（西武メットライフドーム）については東北大会で準優勝し、3年ぶり8度目の本大会出場を果たしました。

本大会では、初戦で強豪「和歌山箕島球友会（西近畿地区代表）」と対戦し3対20と悔しい敗戦となりました。来シーズンでの雪辱・全国優勝を目指し頑張っ



選手へ声援を送る応援団

てまいります。

バドミントンチームは、国内最高峰のS/Jリーグ（旧1部リーグ）への復帰を目指し11月17日から福井県で開催された日本リーグ（旧2部リーグ）に臨みました。本大会で2

位以上となれば自動昇格ということで激戦となりましたが、みごと

準優勝となり、来シーズン（2018年）はS/Jリーグへ復帰することとなりました。

引き続き皆様の温かいご支援ならびにご声援を賜りますようお願いいたします。

（スポーツクラブ後援会事務局長）



表彰式後の選手たち

### ◎社会貢献活動紹介

NTT東日本宮城グループは、東日本大震災で被災した東松島市の海岸防災林の再生活動「NTT東日本みやぎの森」プロジェクトとして一昨年・昨年植樹を実施した矢本地区（1750本）・浜市地区（5050本）の生長管理活動を実施しました。

当日は、電友会・NTT東日本宮城グループの社員と家族総勢80名が2地区に分かれ植

樹していたクロマツの苗木周辺の下草刈りと周囲ののり面に生えるクズなどを取り除きました。電友会の皆様ご協力ありがとうございました。

NTT東日本宮城グループは、継続した社会貢献活動を行ってまいりますので引き続きご協力をよろしくお願



浜市地区



NTT東日本みやぎの森プロジェクト

— 忘れない。忘れてはいけない —

# 震災コーナー



## ◎飯館村で新たな草刈り大作戦

福島地区電友会 丸山 秋一

(認定NPO法人・  
BHNテレコム支援協議会  
福島事務所勤務)

飯館村は原発事故による全村避難から6年を経て、避難困難区域を除く地域が避難指示解除となりました。2017年3月31日に「いたてむら おかえりなさい式典」が行われ、管野村長が「自主自立の考えをもって、新たな村づくりを進める」と式辞を述べ、復興への大きな一歩を踏み出しました。

それから半年後の帰村者数は268世帯515名(震災前の人口の約8%)であり、まだまだ少ないのだが、村を訪れてみると、洗濯物が干してある家、後片付けをする人の姿等が目に入り、あるお宅では庭の花がきれいに咲いたと言って誇らしげに見せてくれました。村のHPには「終の棲家は飯館と決め

ていた。山や畑を眺めて暮らしたかった。食べるくらいは農業もしたい」という村民の言葉も載っていました。避難解除前に比べて笑顔が増えたような気がします。

BHNは避難当初から情報通信手段を提供して避難生活やコミュニティの支援を行い、健康相談会等の健康維持支援活動が続けましたが、避難指示解除という転換期を迎えて村民の要望も変化したことから、我々の活動内容も帰村支援へと軸足を移しました。

村に帰るにあたって自宅周辺に6年間伸びたままになっている雑草が悩みの種だ、多くの村民が語っていました。飯館村は都会の住宅と異なり、1軒あたりの面積は広大で一面を覆いつくすスギナや背丈ほどに伸びた萱の株等、高齢の夫婦や家族だけではとても手に負えないお宅も多いのが実情です。BHNではこれに対処するため一昨年から準備を進め、「草刈り大作戦」を実施しました。



6年間伸び放題となった住宅周りの草刈り

飯館村社会福祉協議会が村民から希望を募り、NTT労組ドコモ本部が全国から集めた作業ボランティアを、5・6月の7週間にわたり宅地周辺の草刈りを、延べ34世帯で実施しました。当該のお宅の方からは、「本当に助かりました」、「やっとすっきり生活できるようになった」等感謝の言葉をいただきました。草刈り大作戦の実施にあたっては、村民との心の交流もできたのは大きな収穫でした。村役場、消防署、クリニック等、最低限の



草刈り大作戦、  
今後も継続していきます！

生活インフラは既に稼働し、8月には念願の「いいたて村の道の駅『までい館』」もオープン。試験田では実に7年ぶりとなる田植えも行われました。明るい話題が飛び込んでくることを喜びつつも、本当に住みやすい村を作り上げるまでは、村民はまだまだ困難な問題を乗り越えなければなりません。

BHNは、今回の草刈り大作戦を今後も継続実施していくことに加え、従来の自治会へのPC技術全般の支援等、息の長い支援を続けることとします。



ntt.com



**Transform your business,  
transcend expectations  
with our technologically  
advanced solutions.**

別冊

# 防災タウンページ デビュー!!



※タウンページはNTT東日本・NTT西日本が発行する職業別電話帳です。  
※NTTタウンページは、NTT東日本・NTT西日本のタウンページ発行業務を委託しています。

NTTタウンページ株式会社 東北営業本部 H29広表第639号【180731】

## 賛助会員企業様コーナー

「賛助会員企業様コーナー」は賛助会員企業様の会員から、ご自分の会社の紹介や余暇の過ごし方等を寄稿していただくコーナーです。今回は株式会社ミライト東北支店様、きらら保険サービス株式会社東北支店様です。



株式会社 ミライト  
東北支店  
田中 啓行

趣味はロック・バンド鑑賞&  
ライブハウスやフェス参加です!

東京方面から新幹線で仙台に入る直前に大きな看板が目に入る「MIRAIT」。「未来+IT」=ミライト(MIRAIT)東北支店の田中啓行(たなかひろゆき)です。

2013年7月に当時大明株式会社に入社し、モバイル事業を1年間修業し、地元東北に戻ってきております。ミライト創立について、もう少し付け加えさせて頂くと2010年10月に大明(株)、(株)コミュニチュア、(株)東電通が経営統合し持株会社(株)ミライト・ホールディングスを設立しました。2012年10月1日に事業会社大明(株)と(株)東電通が合併し株式会社ミライトが誕生しております。

冒頭に述べましたが新幹線沿いにあるNTT長町ビル(仙台市太白区長町5丁目)をお借りし、東北エリアにおける有線・無線の通信設備工事やICT事業・社会インフラ事業(再エネ含む)の建設・保守工事に取り組んでいます。NTT様はじめ、お客様からパートナー会社と言われるよう取り組んでまいりますので、引き続きのご指導を宜しくお願い致します。

さて私事ですが、30数年間NTTにお世話になり最後の年次は東日本大震災を経験することになりましたが、今なお通信設備の復興の一部に携わっております。7年経とうとしておりますが未だ以前のような生活環境が見えてこない凄まじい災害であることを痛感しております。発災から3ヶ月近くは無我夢中の復旧復興に身を粉にしていた中、趣味である音楽鑑賞(と言うと聞こえはいいですが単なるロック・バンド鑑賞&ライブハウスやフェス参加)好きで心を癒していたものでした。1990年代後半に生まれたロック・バンド(俗称20世紀末バ

ンド)の曲や歌詞が好きで機会あれば参加していました。メロディは暗く、歌詞は美しい言葉使いではなく乱暴だけど、何故か闇の遠い先に灯(光)が見える楽曲が多いのです。被災地へ無償で物資搬送や震災の損壊傷跡が修復されないライブハウスで自らの歌で被災地に元氣付けしようとするバンドマンに元氣を貰った。次の日からの復旧復興作業に入ったものでした。今もこの音楽鑑賞は変わらず続けております。今年も10数回のライブやフェスに参加。20世紀末に生まれたロック・バンドの発想の豊かさ、常に新鮮な心に蘇生される日々となっております。ライブ(生)の素晴らしさ、今しか感じることが出来ない、奏者が語りたいた胸中が声となり音となり私たちにぶつかってきます。受留める自分がどう感じ、明日からの人生をどう生きるかを問われるような時間が大好きです。そして沢山の元氣を貰います。震災被災者の皆さんが元氣になるためにも私たちが元氣であることで間接的にも元氣パワーを送り込めたら嬉しいものです。豊かな社会づくりにも人として企業として貢献し続けたいと趣味を通じて感じております。弊社メッセージに「変わりゆく世界と新しい社会の要請を見据えながら、「総合エンジニアリング&サービス」力で未来の架け橋となる「今」をつくる。まもる。」に通じてくるかと思っております。

最後に、私たち通信建設業において最優先すべきは安全と健康です。安全と健康の環境をつくるため「用心」と言う行動があつて出来るものと思っております。この思いを原点に取り組んでいくつもりですので、引き続きご指導ご支援をよろしくお願い致します。





きらら保険サービス 株式会社

東北支店

前田 稔

毎日、山形から通勤しています。趣味は野球観戦、特に高校野球が大好きです！

きらら保険サービス(株)東北支店の前田(まえた)です。

NTTグループ、OBの皆様には、常日頃から東北各地において弊社の活動に、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

せっかくの機会ですので、弊社の生い立ちをご紹介します。平成13年7月に電気通信共済云、NTTビジネスアソシエ、互恵サービス(旧全電通が設立)が共同出資をして、NTTグループ社員皆様の福利厚生の実を図る観点から設立されました。

扱っている商品は、個人向けではアフラックのがん保険、医療保険、介護保険、東京海上日動の自動車保険・あんしん太助(28年11月からは更に割引率が拡大しました)、企業様向けでは、NTTグループ団体労災保険、包括賠償責任保険、建設工事保険、動産総合保険、レク保険、団体定期保険など、あらゆるリスクに対応した各種保険をご契約いただいております。NTTグループの総合保険代理店の位置づけとなっております。

個人的な部分になりますが、平成20年、NTT山形支店在籍中に、労働組合の専従役員退任に伴いNTTを退職し、きららに入社しましたが、私は山形市内に在住しており、単身赴任も考えましたが、乗車時間が1時間ちょっと、通勤時間帯は4分間隔という高速バスの便が良すぎて、妻との交渉は不成立、運動のため一番

町で降車し、東口のテルウエルビルまでを歩くよう心掛けています。

保険業に従事するには、募集人資格が必要で、大きく生保・損保があります。各々定期的に商品別資格取得試験もあります。各々定期的に継続試験、その他個人情報、コンプライアンスの観点から、毎年各保険会社の研修・試験を受けなければなりません。緊張感を持ちながら日々業務に邁進しています。

趣味としては、高校まで野球をやっていた関係で必然的に野球観戦、特に高校野球が好きで、母校(日大山形)の野球部OB会会長も仰せつかっており、県大会優勝、甲子園出場ともなると、約1千名のOBに対する「甲子園出場後援募金」集めに奔走しています。

4年前、母校が山形県勢初の甲子園準決勝進出の時には、最後まで見届ける覚悟を決め延べ9日間大阪に滞在し、後輩たちの成長、活躍に一喜一憂しておりました。

その他には、ゴルフも好きなので、お誘いにはできるだけ応えるようにしています。

結びに、弊社の企業理念は、「大切なものを守りたい。私たちはそんなお客様の願いをカタチにします」と記しています。

この理念を貫き、これからも電友会会員の皆様、NTTグループ社員皆様の安心・安定に少しでもお手伝いできるように取り組んでまいりますので、ご指導よろしくお願いたします。

# 東北地方本部だより

東北地方本部事務局

## ◎支部長・事務局長会議の開催

29年7月21日、NTT五橋ビルにおいて開催。ボランティア活動賞、地方本部長賞の推薦、ボランティア物品支援状況、会報81号の発行等について審議、決定しました。



支部長・事務局長会議

## ◎第4回女性の会への参加

29年10月19日、20日、本部において開催。東北からは、藤枝美津子さん(五ツ橋クラブ)、平井妙子さん(地方本部)が参加。各地域での取り組み等について話し合いました。



講師の「電友会活動を楽しむ術はいろいろ」の話を聴きながら真剣にメモをとる参加者

## ◎気仙沼大島震災復興支援活動への参加

平成29年10月21日、NTT(持株)CSR推進室、NTTファシリテーズエンジニアリング主催の「緑の真珠海岸林再生プロジェクト活動」に奥野本部長、小野寺前本部長始め宮城支部14名(五ツ橋6名、石巻3名、気仙沼5名)、岩手支部(一関4名)が参加。



斜面の下草刈もなんのその!

6年前に植樹した苗



5グループに分かれて各地方本部から出席の女性会員による意見交換

木の成長管理として毎年下草刈を行っている。参加の皆様のご協力ありがとうございました。



さあ！きょうも元気で  
作業がんばるぞ！

◎電友会ボランティア活動賞受賞

29年11月24日、本部主催の表彰式が「KK Rホテル東京」において行われました。

東北の受賞者は次の方々です。

・第27回ボランティア活動賞

伊藤 重さん（福島支部）

長年に亘り社会福祉活動に寄与した功績

平成6年NTT退職後、福島県が主催する

「県民のつばさ」の一員としてドイツ、オー

ストリアに福祉・教育関係の研修に参加。その後、民生、児童委員として地域住民の相談役となり21年間に亘り被保護世帯、要保護世帯の更生指導を行ってきました。その功績が認められ厚生労働大臣賞を受賞するなど社会福祉活動に大きく貢献しました。

斉藤 源一さん（福島支部）

長年に亘り社会福祉活動に寄与した功績

平成13年から民生、児童委員として、地域住民の相談役となり被保護世帯、要保護世帯の更生指導を15年余りに亘り取り組んできました。この間、民生児童委員協議会副会長を6年間務めるなど活動を牽引し地域の社会福祉に大きく貢献しました。また、町内会活動にも長年携わり、現在も町会連合会会長として活躍中です。

金子 京助さん（山形支部）

子供は宝との意識で

交通安全指導に携わる

平成16年から13年間に亘り、地元の山形市立小学校の交通指導員として、交通量の激しく危険な小学校前の十字路で毎朝、児童の誘導を行ってきました。この間、安全確保を最優先に無事故で務め上げ、山形市、山形警察署等から表彰されるなど青少年育成活動として多大な貢献をされました。

◎叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高齢者叙勲

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

瑞宝双光章 宮城 小柳 芳雄様

（平成29年6月～29年11月まで）



ボランティア活動賞受賞の皆さん  
前列（左から）奥野本部長、伊藤さん、斉藤さん（代理）、金子さん

